



第32回京臨技北部学術発表会を開催しました

第32回京臨技北部学術発表会を昨年12月16日に綾部市ものづくり交流館で開催しました。今回は、『発表演題』、『日臨技・京臨技からのお知らせ』、『特別講演』の3部で構成しました。発表演題は、各分野から6題の発表があり、そのうち3題は初めての発表（YIA）でした。どの演題も貴重な症例や、取り組みをまとめたもので興味深い内容でした。

特別講演1は「記者が見た中南米の医療現場」のタイトルで、毎日新聞社の庭田学記者に講演していただきました（写真右）。2009年新型インフルエンザ、2010年ハイチ大地震など、メキシコ特派員時代の写真を紹介され、中南米の文化や暮らし方、医療事情について知ることができました。国境国籍を問わず、社会正義を守るために命を懸けて報道しているという言葉が印象的でした。



特別講演2は日臨技の滝野寿専務理事に、「臨床検査技師の未来像」のテーマで講演していただきました（写真左）。最新テクノロジーの医療への活用が進み、検体検査は機械に任せる時代が来る。新しいポジションや役割の創設、ヒトが行うことの付加価値を考えなければならない。多様性が新しいものを生む、文理を超えた異種業種との交流、人材育成、マネージメント力、論理思考力を磨くことも重要と話されました。日臨技を「肥沃な土壌」と例えられた言葉に安心感があり、「臨床検査技師は未来になくなる職業」ではないと思いました。

綾部市立病院 滝本寿史

瑞宝双光章受章おめでとうございます



令和5年秋の叙勲に際し、保健衛生功勞により瑞宝双光章拝受の榮に浴することができました。11月13日にホテル椿山荘にて勲記と勲章の伝達を受け、その後皇居に参内して天皇陛下に拝謁させていただきお言葉を賜りました。

京都大学からの推薦でしたが、京都大学病院と今まで勤務した洛和会ならびに市立舞鶴市民病院も含めた臨床検査技師としての勤務実績ならびに技師会での活動をご評価いただいたものであると思います。

家族はもとよりそれぞれの職場の同僚や技師会関係者に深く感謝申し上げます。また、これからも受章に恥じぬよう精進して参ります。

（一社）京都府臨床検査技師会顧問 白波瀬浩幸

祝



京臨技からのお知らせ

タスク・シフト/シェア講習会の受講はお済みですか？

次回開催：3月17日(日)



実務委員も募集しています！
条件：タスクシフト実技講習修了者で
京臨技+日臨技会員の方
(先着2名)
詳しくは京臨技HPにてご確認ください。

<https://www.jamt.or.jp/task-shifting/>



タスクシフト実技講習会は**令和7年度で終了予定**となっております。
計画的に受講いただきますよう宜しくお願い致します。(写真：2023年9月実施回)



■ 北部学術発表会にて広報を行いました

第32回北部学術発表会にて、日臨技・京臨技の組織・運営説明を行いました。今川副会長より日臨技主催の学会・研修会、共済制度、認定検査技師制度について、齊藤事業部長より京臨技各研究班の紹介、研修会情報、ホームページの有効利用などについて説明をしました。

■ 各研究班の研修会にご参加ください



2月

14日北部・免疫検査研修会
16日心臓超音波検査研修会
23日第4回京都医学検査学会
24日遺伝子検査講演会

(1月15日時点HP掲載分)

その他、近畿支部主催の研修会情報も掲載しています。ぜひご参加ください。

一緒に活動しませんか？



編集後記

よく利用する駅で、受験生に合格を祈願した切符が配布されていました。受験シーズンですね。ちなみに今年度の臨床検査技師国家試験は2月14日です。効率がいいのか悪いのか分からない語呂合わせを作っては、試験直前まで参考書にとらめっこしていたのが懐かしいです。もうあの量は覚えられない.. (ふ)

<https://kamt.jp>

会員専用ページ：ID kamt PW kyoringi

ご意見等は、京臨技ホームページのトップページ最下部

「お問合せフォーム」ボタンから

発行所 (一社)京都府臨床検査技師会

発行責任者・編集者：江口 光徳

編集者：藤原 麻有, 相田 幸雄, 増田 健太, 白波瀬 浩幸

〒606-8155京都市上京区千本竹屋町東入ル主税町910番地

TEL 080-5197-0196

会員専用ページのIDとPWは

全会員共通です



<https://kamt.jp/pr>

↑アンケートはこちらから↑
京臨技広報に関するアンケートにご協力ください。

